

9月29日(土) 「日本文化再発見シンポジウム」に本校生が参加

兵庫県政150周年記念&兵庫県伝統文化研修館開設2周年記念として、兵庫県公館で開催されました。兵庫県下の各高校からの参加者が意見発表を行い、交流を図り日本のアイデンティティを高めて「日本文化の再発見」に繋げていくというものです。

兵庫県からは金澤副知事はじめ多くの幹部の方々、兵庫県教委からも世良田教育次長や主幹の方々も出席しておられました。

出席した生徒の学校の校長先生や教頭先生、引率の先生方も出席し、講演や生徒達の発表を聞きました。本校からは校長と中村教頭が出席しました。

◇第一部 特別講演

「日本文化の国際化に向けた情報発信」

ゲスト：西垣 幸児氏 (NHKラジオセンター チーフ・プロデューサー)

(兵庫県出身。東京と関西を行き来したほか、アジア特派員、「NHK ジャーナル」キャスターなどを歴任)

◇第二部 高校生による日本文化再発見トーク「世界に届け、日本の心」

モデレーター：田所 昌幸氏 (慶應義塾大学法学部教授)

(通貨、国際機構、国際報道など国際政治を多面的に検討し、現在は、国際人口移動の政治学に関心)

国際化が進む現在、勤勉・親切で「和の心」を有する日本人への注目はますます大きくなっていることから、次代を担う高校生が、「世界から尊敬される、こんな日本人になりたい」を自由に描き、トークが行われました。

本校からは、2年生の東瀬戸翔大君が参加し、しっかりと発表してくれました。

本校以外の参加は、西宮高校・芦屋高校・明石高校・姫路西高校・龍野高校・相生高校・市立姫路高校の生徒たちでした。



発表の様子



兵庫県公館(右は会場の第一会議室)

兵庫県公館は明治35年(1902年)に兵庫県本庁舎として建設された歴史ある建物です。現在は賓客をおもてなしする迎賓館として使われているほか、県政資料館としての役目があります。

映画の撮影、ロケ地にも利用され、平成27年(2015年)には、木村拓哉さん主演のドラマ「HERO」の劇場版ではネウストリア公国の大使館として使われました。

東瀬戸君の発表内容(要旨)

僕は高校の国際交流プログラムの一環で、イギリスで2週間の語学研修を行いました。他にもシンガポール研修があった中、イギリス研修を選んだのは、イギリスは自分が今まで訪問したことのない土地であり、しかも2週間も滞在できるということで、自分のまだ知らない異文化に触れることができる。と思ったからです。

まず、イギリス滞在中に思ったことは、甘えて寄りかかることのできる、「同一の文化」という背景が期待できない、つまり黙っては何もわかってはもらえないということです。

だから自分の考えや感情は出来るだけ正確に言葉で表現することが必要となります。日本人の素晴らしさは、言わずとも相手の心情を察知できる「以心伝心」の能力に長けており、相手の気持ちを先読みして気配りするのが上手なところだと思います。

しかし、文化の違う国では、残念ながら自分の考えは言葉にしないと伝わらない、ということを知りました。

次に、イギリスの学校行事に参加して思ったことは、イギリスの学生たちは意見を交換し合い、「なぜ、人と自分の考えが違うのか」を探求しあうことがとても上手だということです。

考え方を論理的に伝え合うことで、新しい世界を知ることができ、考えの幅を広げることができる、とても素晴らしい学校行事だと思いました。

国際化が進む中、英語を学ぶ私達にとって最も障害となるのは、英語の論理に基づいて、自分の意見や考えをしっかりと相手に伝えることができるか、だと思います。

また、日本は、科学、経済、歴史、文化など、様々な面で強い興味を世界に抱いてもらっています。しかし、それらについて質問されると口ごもることが多いように思います。

ホストや学生と話してみると、自国のことをよく知っていることが分かります。

「他国に賞賛されている日本の素晴らしさ」を知らない自分が、とても恥ずかしくなり、自分の国の文化や歴史をもっと勉強したい！と強く思いました。

加えて日本の良さを再認識した事。それは、日本人の繊細さ、丁寧さです。

イギリスの高校で僕たちが浴衣を着て、折り紙を教えるワークショップを開いた時のことです。小さな折り紙に折り目を付け、手先を細やかに動かし、鶴を折っていく作業をイギリスの学生と一緒に楽しんでいた時、「あなたたち日本人は、なんと器用なのか?!」と僕たちが作った折り鶴の完成系を見て、彼らが大変驚いていました。

日本の折り紙技術は、人工衛星の太陽電池パネルに使用されていたり、建築部材に使用されていたりと、世界に誇れる技術です。

日本の設計に対する細やかさはもちろん、人に対しての丁寧で細やかな配慮は、日本人の特筆すべき優れた点であると誇らしく思いました。

現在僕は、神戸高校の総合理学科で、科学をテーマとした課題研究を行っています。

その研究について、今後英語で発表し、意見交換することとなります。その際、今回の語学研修で学び、経験したことを仲間と共有するとともに、研究成果を、論理的に言葉に出来るコミュニケーションスキルを磨き、「和の心」を持って、世界に向けて発信していきたいと思えます。

ご清聴大変ありがとうございました。